

経済社会情勢の変化に対応した
キャリアコンサルティングの実現に関する研究会
教育領域に関する説明資料

学校法人 五島育英会 評議員
東京都市大学グループ 大学教学局長
住田 暁弘



東京都市大学 学部・研究科 構成

(8学部18学科・3研究科)

<世田谷キャンパス・横浜キャンパス・王禅寺キャンパス>

理工学部

- 機械工学科
- 機械システム工学科
- 電気電子通信工学科
- 医用工学科
- 応用化学科
- 原子力安全工学科
- 自然科学科

建築都市デザイン学部

- 建築学科
- 都市工学科

都市生活学部

- 都市生活学科

情報工学部

- 情報科学科
- 知能情報工学科

人間科学部

- 人間科学科

デザイン・データ科学部

- デザイン・データ科学科

環境学部

- 環境創生学科
- 環境経営システム学科

メディア情報学部

- 社会メディア学科
- 情報システム学科

学生数 8,478名

大学 7,506名

大学院 972名

(2025年5月1日現在)

総合理工学研究科

環境情報学研究科

情報データ科学研究科

大学のキャリア関連資格保有者

- ・キャリアセンター 専任職員
- ・キャリアセンター 非常勤職員(派遣・業務委託)
- ・人事課 専任職員
- ・元キャリアセンターや人事課の専任職員
- ・学生相談室(臨床心理士・公認心理士)
- ・キャリア教育担当教職員(専任・非常勤)



本日の主なご説明

1. 学生向け就職支援・インターンシップ業務

2. 主に低学年学生向けキャリア教育

3. カリキュラム設計担当者との連携

4. 社会人向けリカレント・リスキリング教育



1. 学生向け就職支援・インターンシップ関連業務 ＜求められる力など＞

- 学生と新卒就職やインターンシップに関する面談を行う力
- 企業人事担当への対応や新卒求人やインターンシップ情報を収集する力
- 企業などと連携してインターンシッププログラムを作成する力
- 学生を対象に就職やインターンシップに関する講座を講師として行える力



現在の就活スケジュール

- ▶ **インターンシップ (IS)** の重要性が高まる
- ▶ 4年生6月以降も**採用継続企業多く**、チャンスあり

3年生							4年生													
8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
夏休み		授業期間					春休み		授業期間				夏休み		授業期間					卒

3/1
広報
解禁

6/1
選考
解禁

内
定
式

卒
業
式

夏IS

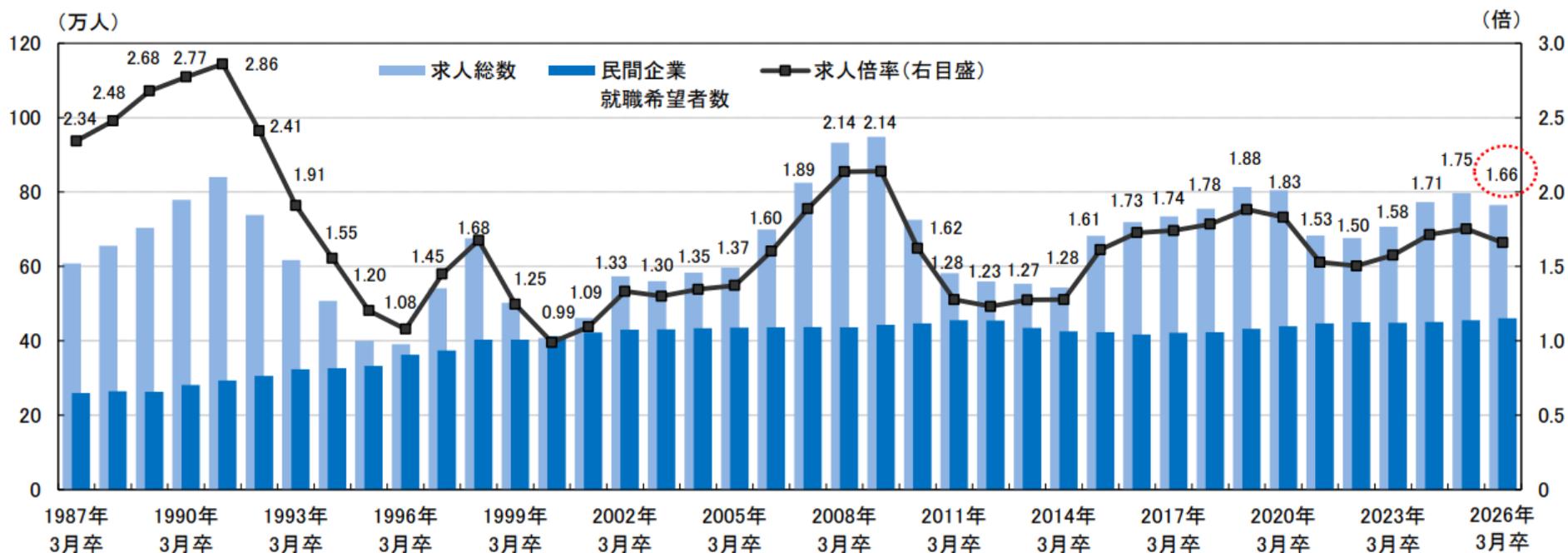
秋冬IS

早期選考ルート

大卒求人倍率の推移

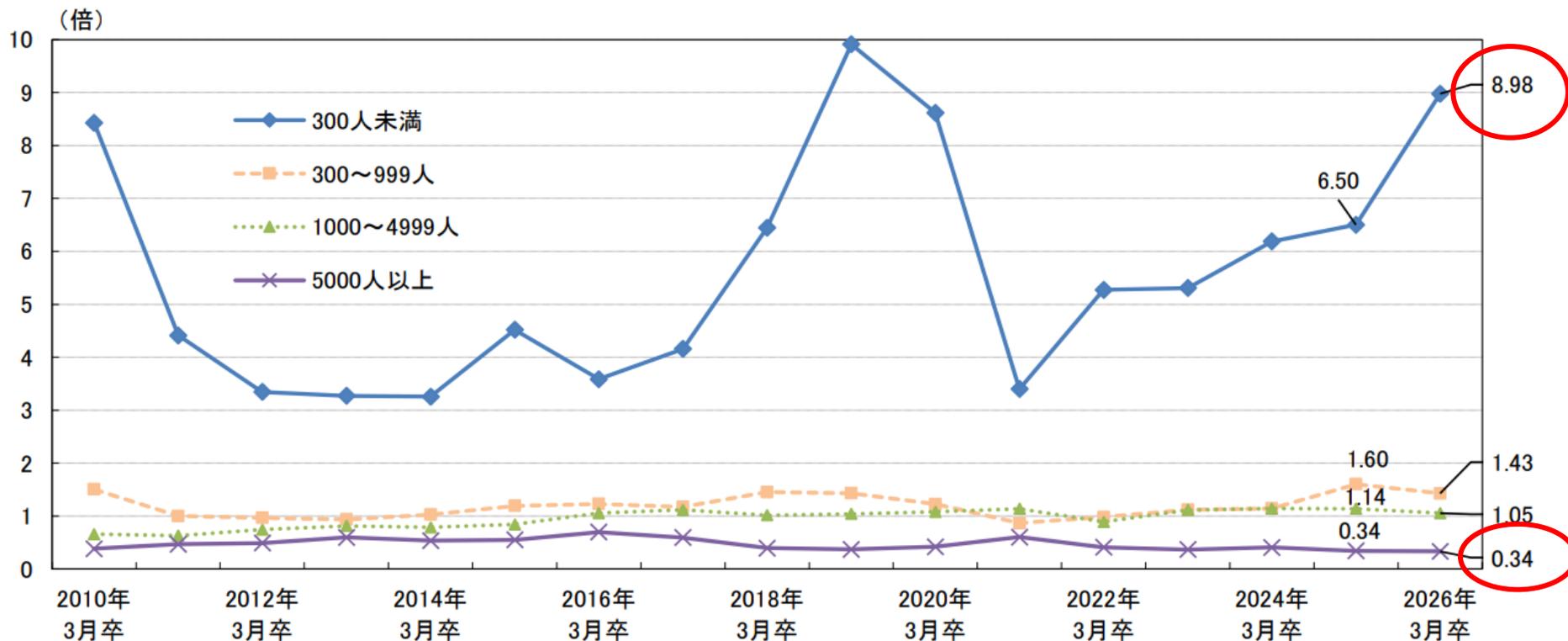
▶2026年卒は1.75倍から**1.66倍**へと4年ぶりに低下

求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移



従業員規模別大卒求人倍率の推移

▶300人未満企業の採用意欲が増加するが、中堅・大企業では低下ないし横ばい



就活多様化のキーワード

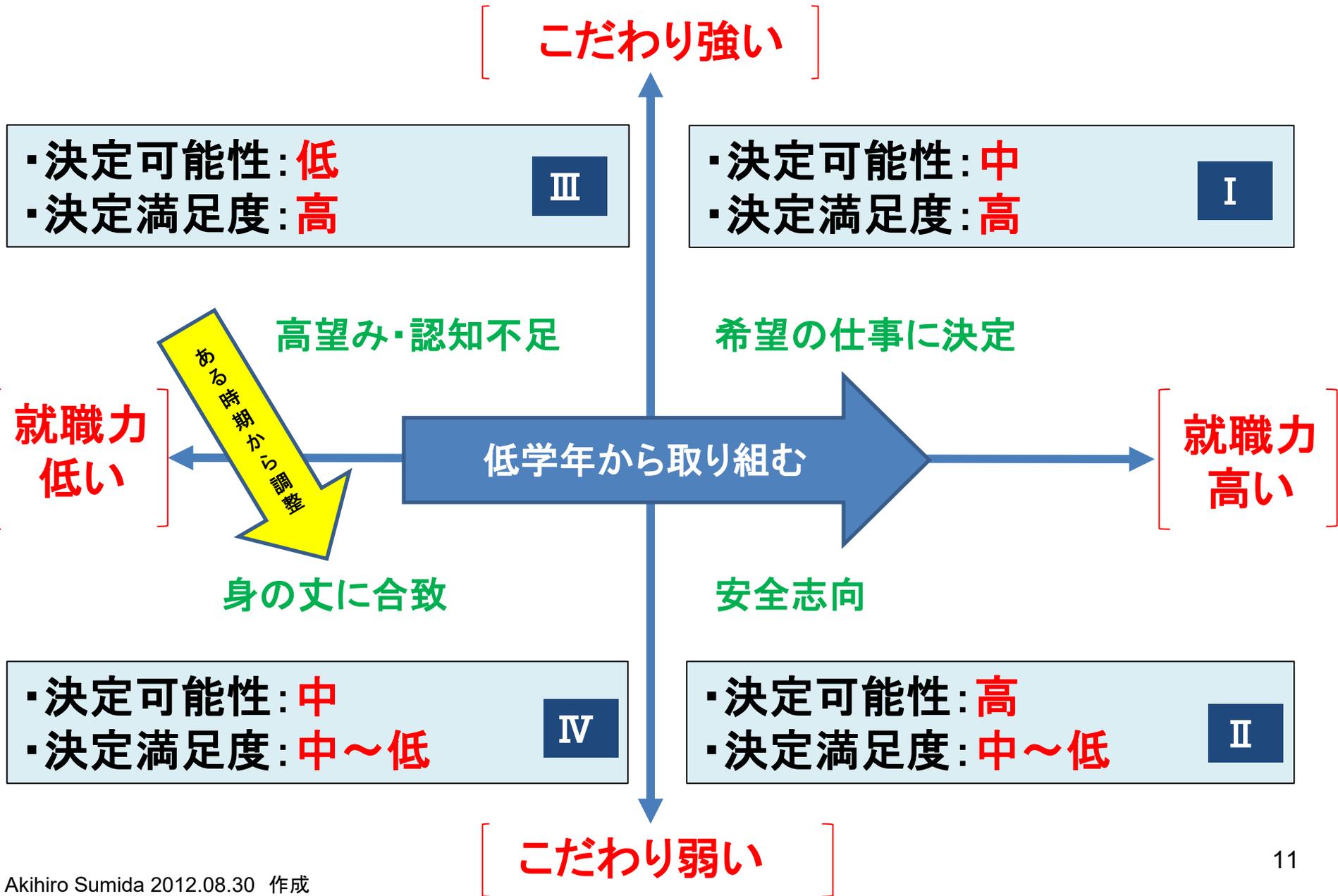
オンライン説明会 オンライン面接	コロナ禍で浸透。地方学生や留学生の 選択肢拡大 。 企業の 雰囲気 が掴みにくいなどのデメリットも。
生成AIの活用	生成AIを使って、 応募書類 の作成や添削が日常となる 面接 の問答の練習を行う学生も見受けられる。 自分で自分に気づいてない部分や気持ちの反映は課題
ダイレクト リクルーティング	自社にマッチした人材を企業側が探し、アプローチする採用手法。経験者採用（中途採用）では頻繁だった。 オファー型、スカウト型 など。
ジョブ型雇用 （日本型）	職務内容を限定して人材を採用する 雇用形態。 職務定義書と呼ばれる書類に職務内容や勤務地、労働時間、待遇などを記載し、合意を得た上で雇用契約を締結。
オワハラ	自社の内定辞退を回避したいがため、 学生に他社の採用選考を終わらせるような行為「オワハラ」 が問題視。 政府がルールを設け、防止の徹底について注意喚起。

インターンシップの類型整理

	類型			
	タイプ1： オープン・カンパニー	タイプ2： キャリア教育	タイプ3： 汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ4（試行）： 高度専門型インターンシップ
①目的	個社や業界に関する 情報提供・PR	働くことへの理解を 深めるための教育	就業体験を通じて、 学生にとっては自らの能力の見極め、 企業にとっては学生の評価材料の取得	就業体験を通じて、 学生にとっては実践力の向上、 企業にとっては学生の評価材料の取得
②代表的 ケース (主に想定 されるもの)	企業・就職情報会社や 大学キャリアセンター が主催するイベント・ 説明会	<ul style="list-style-type: none"> ●大学が主導する 授業・産学協働 プログラム（正課・ 正課外を問わない） ●企業がCSRとして 実施するプログラム 	企業単独、大学が企業あるいは地域コンソー シアムと連携して実施する、適性・汎用的能力 ないしは専門性を重視したプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ●ジョブ型研究インターンシップ (自然科学分野の博士課程学生を対象 に文科省・経団連が共同で試行中) ●高度な専門性を重視した修士課程学生 向けインターンシップ
③就業体験	なし	任意	<p>必須</p> <p>★(a) 就業体験要件 学生の参加期間の半分を超える日数を職場で の就業体験に充てる（テレワークが常態化して いる場合は、テレワークも「職場」）</p> <p>★(b) 指導要件 就業体験では、職場の社員が学生を指導し、 インターンシップ終了後、学生に対しフィード バックを行う</p>	必須
④参加期間 (所要日数)	超短期（単日）	授業・プログラム によって異なる	<p>★(c) 実施期間要件 (i)汎用的能力活用型は短期（5日間以上） (ii)専門活用型は長期（2週間以上）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ジョブ型研究インターンシップ： 長期（2カ月以上） ●高度な専門性を重視した修士課程学生 向けインターンシップ：2週間以上
⑤実施時期	時間帯やオンラインの 活用等、学業両立に配 慮し、学士・修士・博 士課程の全期間（年次 不問）	学士・修士・博士課程 の全期間（年次不問）。 但し、企業主催の場合 は、時間帯やオンライ ンの活用等、学業両立 に配慮	<p>★(d) 実施時期要件 学業との両立の観点から、「学部3年・4年 ないしは修士1年・2年の長期休暇期間（夏休 み、冬休み、入試休み・春休み） 但し、大学正課および博士課程は、長期休暇 に限定されない</p>	—
⑥取得した 学生情報の 採用活動 への活用	不可	不可	<p>採用活動開始以降に限り、可</p> <p>★(e) 情報開示要件： 募集要項等に必要な情報（9項目。詳細は2021年度 報告書ご参照）を記載し、ホームページ等で公表</p>	採用活動開始以降に限り、可

主な特徴

企業規模や職種へのこだわりと就職決定

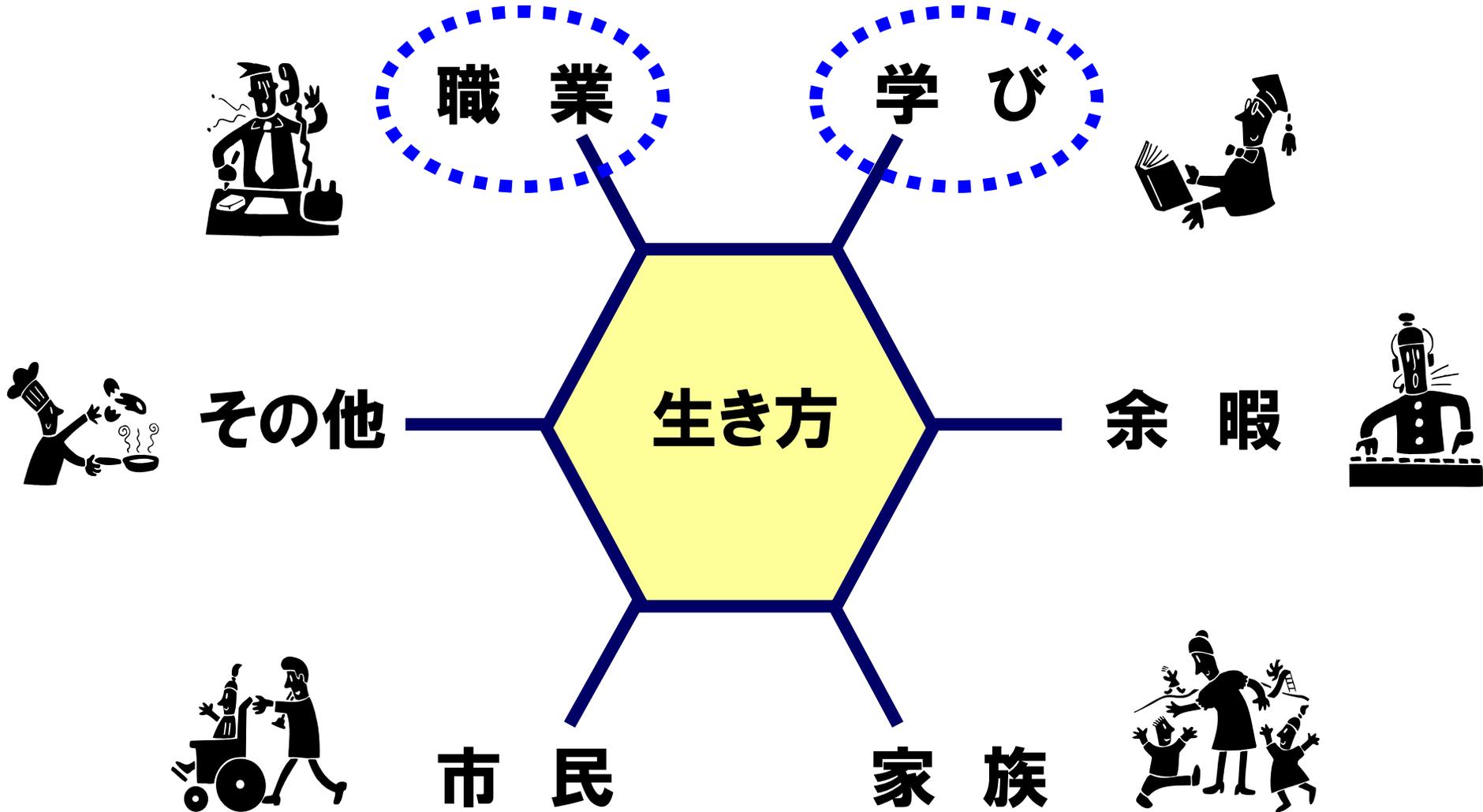


2. 主に低学年の学生に向けたキャリア教育 ＜求められる力など＞

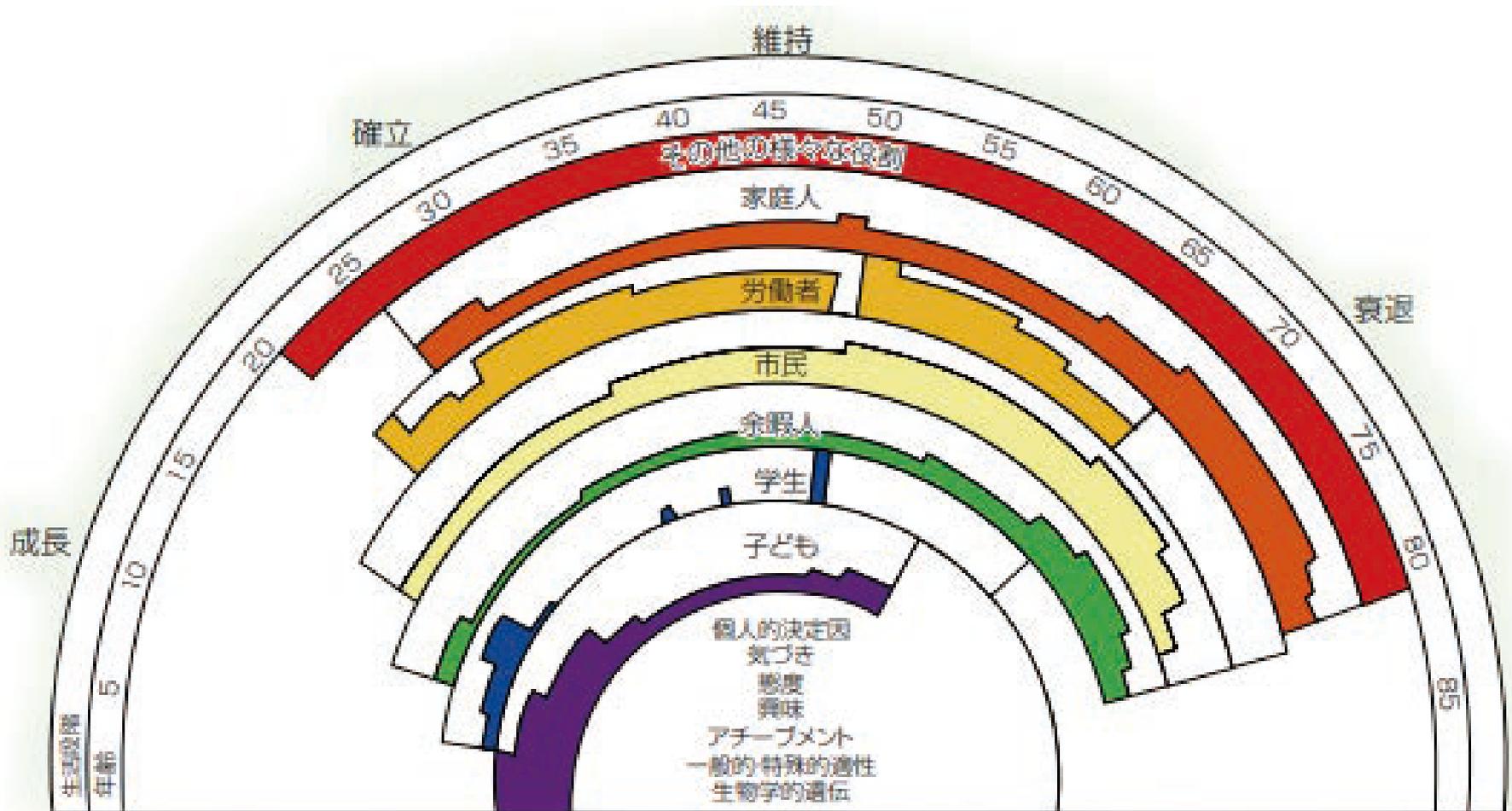
- 低学年の学生に向けて、キャリアの理論などに基づいたキャリア教育を講師として行える力
- 学生を採用する企業や就職サービスを提供する企業、学内の関係者と連携して、キャリア教育のプログラムを構築できる力
- キャリアポートフォリオやジョブカードなどのツールを利用したキャリア形成について学生に伝えることができる力



キャリアのイメージは？



キャリア・レインボー



2001年渡辺三枝子+E.L.Herr 著「キャリアカウンセリング入門」p83 The Life-Career Rainbow, Nevill&Super.1986と文部省『中学校・高等学校進路指導資料第1分冊』平成4年をもとに作成

キャリアをデザインするとは

キャリア = ① 経歴 【客観的側面】
② 仕事に対する自己概念 【主観的側面】

デザイン = ②の展望をもつ
+
必要なスキル・能力を主体的に育む

「キャリア開発のフレーム」

① 自分を知る

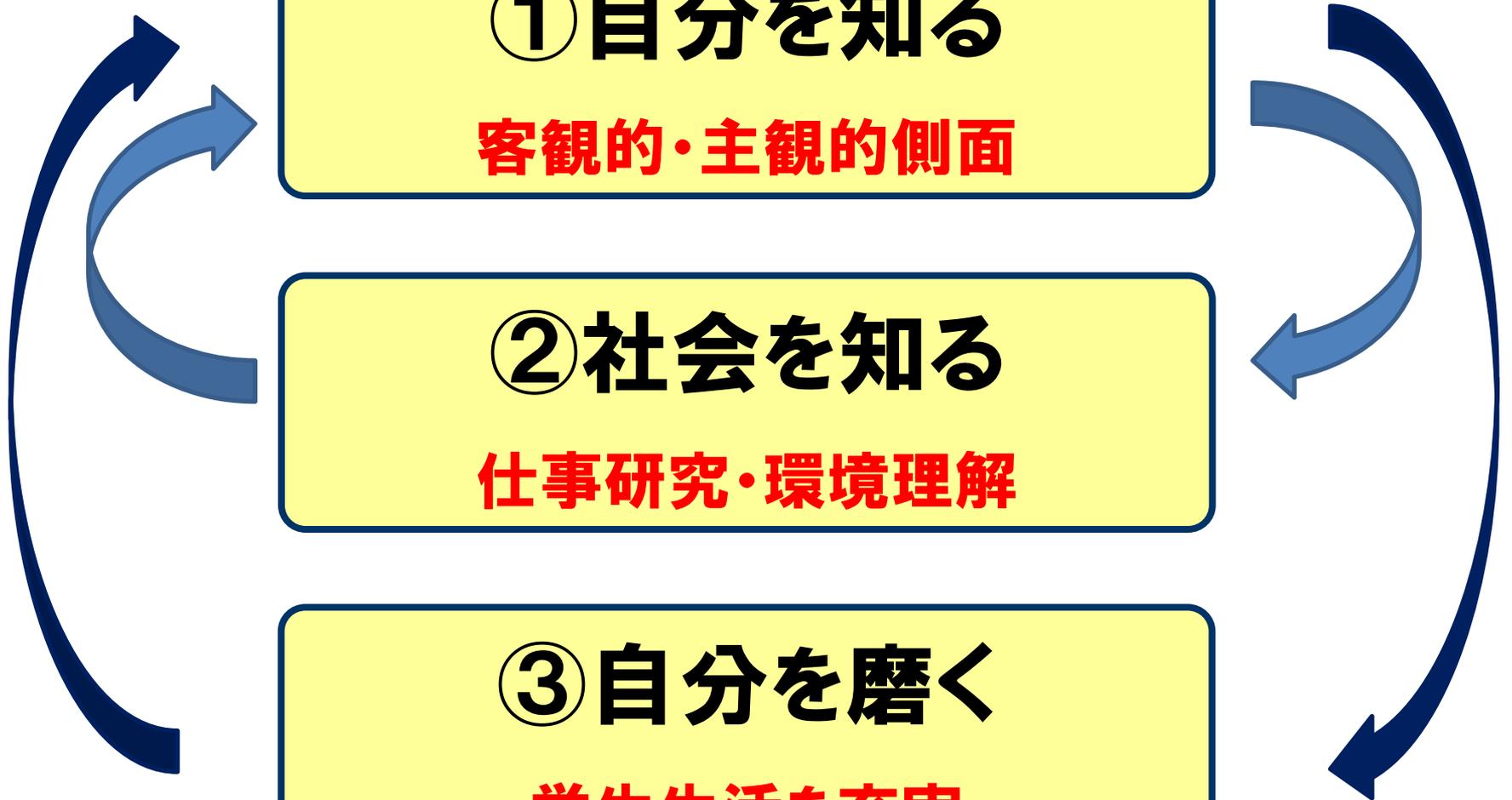
客観的・主観的側面

② 社会を知る

仕事研究・環境理解

③ 自分を磨く

学生生活を充実



ホランド(Holland)

- 大多数の人は6つのパーソナリティタイプに分類される
- 環境タイプも6つのタイプに分類される
- 技能や能力が生かされ、価値観を態度で表現でき、自分の納得できる役割や課題に取り組める環境を求める
- 人の行動はパーソナリティと環境の相互作用で決定される

① **R**ealistic (現実的)

② **I**nvestigative (研究的)

③ **A**rtistic (芸術的)

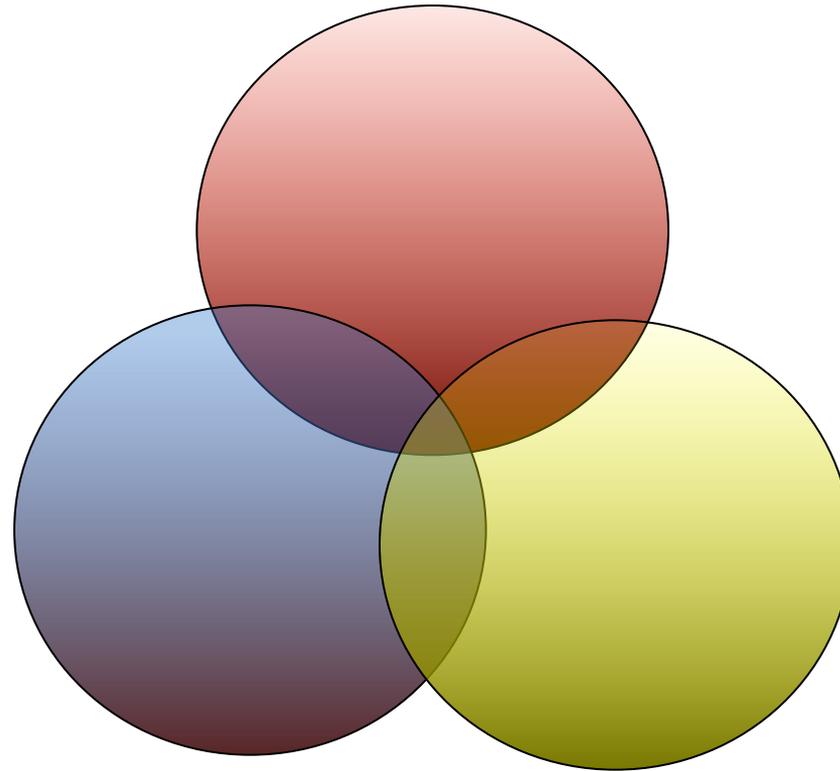
④ **S**ocial (社会的)

⑤ **E**nterprising (企業的)

⑥ **C**onventional (慣習的)

エドガーシャインの3つの問い

自分にできることは？
何が得意か？
(能力・才能についての
自己イメージ)



何をやっているときに
意味を感じ、社会に
役立っていると
実感できるか？
(意味・価値についての
自己イメージ)

何がやりたいか？
(動機・欲求についての
自己イメージ)

「計画された偶発性」

Planned Happenstance Theory

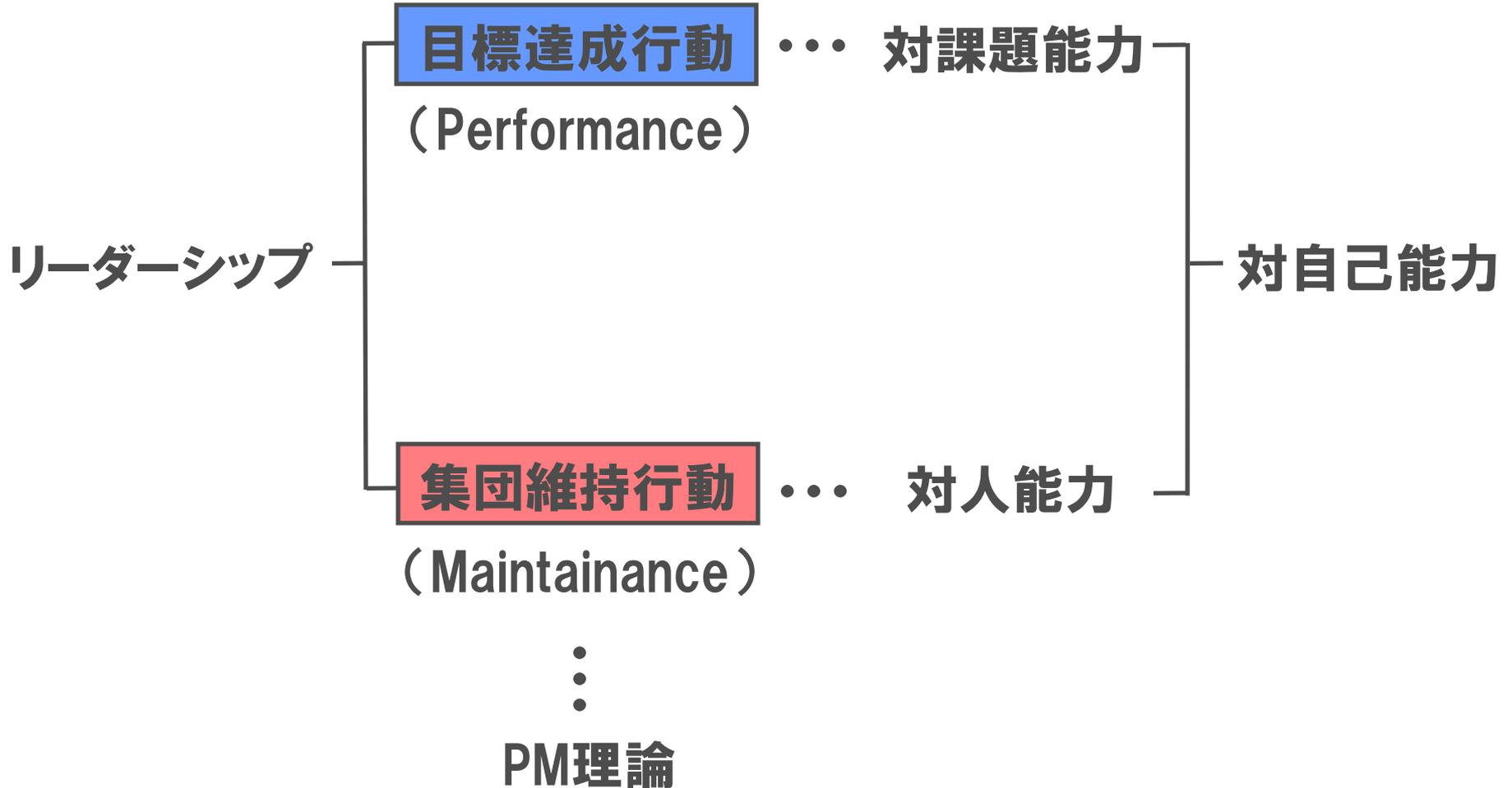
キャリアの80%は偶然性に支配されている クランボルツ(J. D. Krumboltz)氏の理論

- ・ 予期せぬ出来事が個人のキャリアを左右する
- ・ 予期せぬ出来事を避けるのではなく、起きたことを最大限に活用する
- ・ 偶然を積極的につくりだし、キャリア形成の力にすることが重要

複雑で予測不可能な未来に対する賢明な対応は

「内省・意思決定」 < 「行動・経験からの学習」

リーダーシップ≒基礎力



低学年からの「キャリア意識の醸成」

▼都市大力（社会に必要な5つの力）

TCU FORCEシステムで、学修成果を可視化

自身が伸びる学び方を見つけて生涯にわたって学び続けること、自己と社会の関係性を理解して倫理的規範を立て行動すること、学生生活や経験を成長の機会と捉え自らの可能性をひらくことができる力です。

複雑な問題や状況に対応できる複雑な思考および視点、健全な心身、幅広い教養を身につけ、専攻する学問分野の知識とスキルを有し、有すのみならず、持続可能な社会づくりへと展開する知恵と実践力のことをさします。



過去から現在までの経緯を踏まえて望ましい未来を思い描き、グローバルで未来志向な視点と深い洞察によって本質的な問いを見出し、目標を立てて解決までの物語を紡ぐことができる力です。

科学的な情報やデータを駆使して取り組むべき課題を明確化し、単なる課題解決にとどまらず創造的かつ独創的な価値を付加した取り組みに挑戦し、そのプロセスをまとめ成果として結実させることができる力です。

チームやコミュニティの目的に向けて、多様な人々とともに公正な場づくりを行い、自他ともに高め合えるようなコミュニケーションのもと自らの役割を責任をもって担い、人々と成果を生み出すことに貢献する力です。

東京都市大学
THE UNIVERSITY OF TSUKUBA

発行日：2023年5月31日

DIPLOMA SUPPLEMENT ディプロマ・サプリメント

この学修はディプロマ・サプリメントの発行科目において、学修成果として下記の能力を身につけていくことを目指します。

東京都市大学
学長 三木千壽

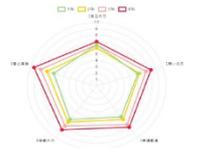
(1) 学生基本情報

氏名(学籍番号)	シノノボコ 都市 花子 (2x11031)
学部・学科・専攻	経済学部 経済学科 4年次

(2) 都市大力(成績評価)

この年度における都市大力を基に、ディプロマ・サプリメントの達成度を評価し、学修の到達点の可視化を図ります。

ディプロマ・サプリメントの項目	1年	2年	3年	4年
【自立の力】	5.0	6.0	7.0	8.0
【問いの力】	5.0	6.0	7.0	8.0
【価値創造の力】	4.0	5.0	6.0	7.0
【協働の力】	5.0	6.0	7.0	8.0
【智と実践の力】	4.0	5.0	6.0	7.0



(3) ジェネリックスキル(適性検査結果)

項目	1年	2年	3年	4年
リテラシー基礎力	3	5	7	8
コミュニケーション基礎力	4	6	6	7

*スコア1~7は高いです。



(4) TORICスコア

各年度に学校長へTORICのスコアを表示する。

スコア	900
-----	-----

(5) アピール項目一覧

本学では全学共通の専攻ごとの学修成果から、ポートフォリオとして専攻独自の学修成果の可視化を図ります。

年度	学期	発行	達成状況	内容
2023年度	1年次	2023/2/8	学修支援スタッフ(TA・SA)	TAとして異国研修
2023年度	1年次	2023/2/8	グローバル実務(ゼミ・インターンシップ・海外研修・グローバル研究)	インターンシップ活動(海外)
2022年度	1年次	2023/1/19		TORIC500点
2022年度	1年次	2023/1/14		国際検
2022年度	1年次	2022/12/13		海外研修もしました。

TCU—FORCEシステムとは

学生が正課や正課外などの活動で培った経験を登録していくことで、学生の持つ様々な力を可視化し、教職員の支援を受けながら「自己理解と成長」を促す学修支援システム

「FORCE」 = FOR Career Enrollment

- ※Enrollmentとは記載、登録、入学の意味
昨今、入学前から、在学中、卒業後までを一貫してサポートする総合的な学生支援策
「エンrollment・マネジメント(Enrollment Management)」が話題になっている



TCU-FORCE システムの機能

1年生からその都度、学生自身の情報を確認し、成長度合いを認識できる

- ①レーダーチャートによる**定量**情報の表示
- ②承認されたアピールポイントの**定性**情報の表示
- ③キャリアガイダンスで目標設定⇒振り返り⇒再目標設定
＜PDCAを習慣化＞
- ④キャリアポートフォリオ機能で日々の活動を記録

※④キャリアポートフォリオ機能のみ学生本人だけが閲覧可能、①～③の機能は教職員も閲覧可能

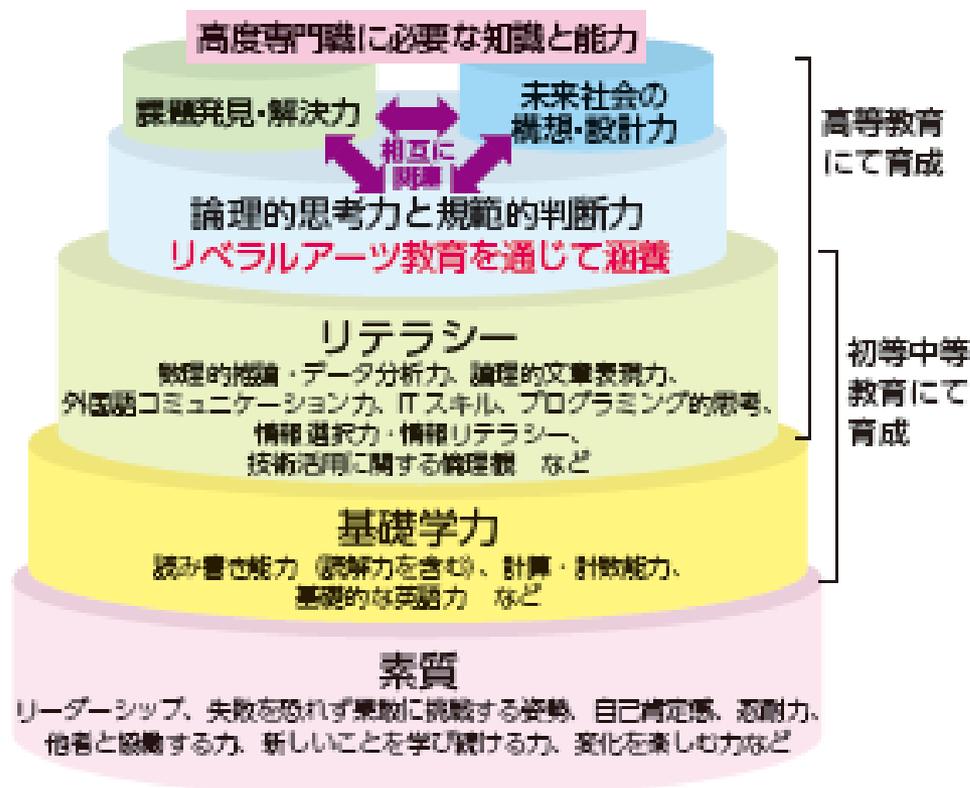
3. カリキュラム設計をする担当者との連携 ＜求められる力など＞

- 社会で求められる能力をカリキュラムを設計する担当者に伝える力
- 正課の授業にキャリア教育を取り入れる提案ができる力
- 教学IR (Institutional Research) のベースとなるデータ分析できる力

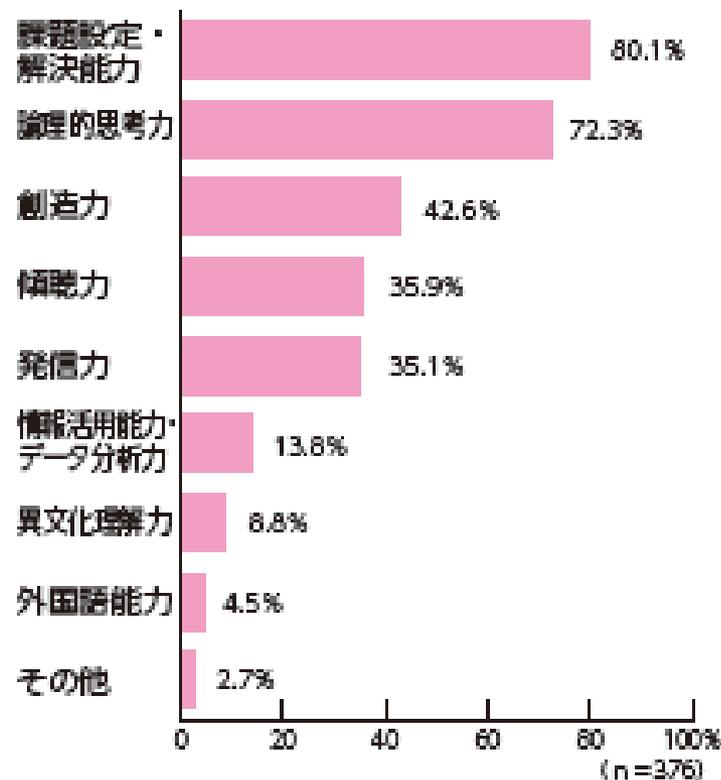


産業界が求める能力

< Society 5.0 で求められる能力と資質 >



< 企業が大卒者に特に期待する能力 >



出典：採用と大学教育の未来に関する産学協働委員会「中間とりまとめと共同提言」（2019年4月22日）、経団連「Society 5.0 - とともに創造する未来 -」（2018年11月13日）を基に経団連事務局にて作成

出典：経団連「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（2022年1月18日）

職業能力

基礎力

対人能力

対自己能力

対課題能力

思考力(論理的・創造的)

処理力(言語・数量)

専門力

専門知識

専門技術・実践経験

**環境
適応性**

自己信頼

変化志向・好奇心

当事者意識

達成欲求

**職業的
信念**

**職業的
態度**

相互に影響を及ぼし合う

就職力を高めるための式

就職力

≡

専門力

+

基礎力

×

職業的態度

×

3年生から
就職活動力

- ・対人能力
- ・對自己能力
- ・対課題能力
- ・基礎学力
- etc.

- ・自己信頼
- ・変化志向 好奇心
- ・当事者意識
- ・達成欲求
- etc.

- ・面接対応力
- ・筆記試験対応力
- ・応募書類作成力
- ・仕事発見力
- ・マッチング力
- etc.

学内データを結集して取り組む教学IR

28

■ データ

- ・入試情報
- ・成績
- ・所属研究室
- ・TOEICスコア
- ・授業出席状況
- ・課外活動加入記録
- ・インターンシップ参加申請
- ・留学記録
- ・奨学金
- ・学生相談記録
- ・PROG結果
- ・SPI模擬試験結果
- ・ビジネスプランコンテスト参加履歴
- ・キャリア面談履歴
- ・ガイダンス参加履歴
- ・求人企業プロフィール
- ・進路先情報
- ・卒業生調査から卒業後の社会での活躍
など

■ 利用イメージ

- ・TCU-FORCEのロールモデル作り
- ・都市大から学科のカリキュラムの検討
- ・退学者予備学生対応
- ・広報素材

- ・キャリアでは有名企業400社への決定者の
キャリア支援利用の相関、
- ・企業プロフィール、東京商工リサーチから企業
データベースを購入して更新
- ・留学、海外インターンシップ経験学生のPROGの
変化
- ・卒業生情報から在学時の経験などのモデル提示
など

4. 社会人に向けたリカレント・リスキリング教育 ＜求められる力など＞

- 社会人に向けたプログラムを設計する力
- 社会人に向けたキャリアコンサルティングを行う力
- 社会人に向けたプログラムを案内する力

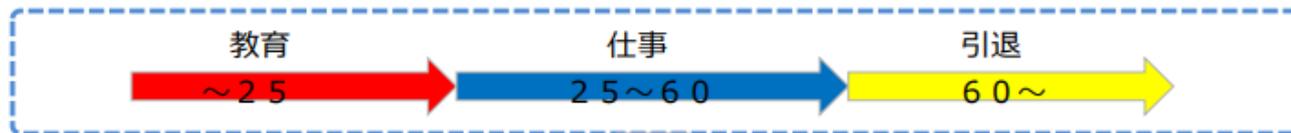


これからの社会と働き方の変化

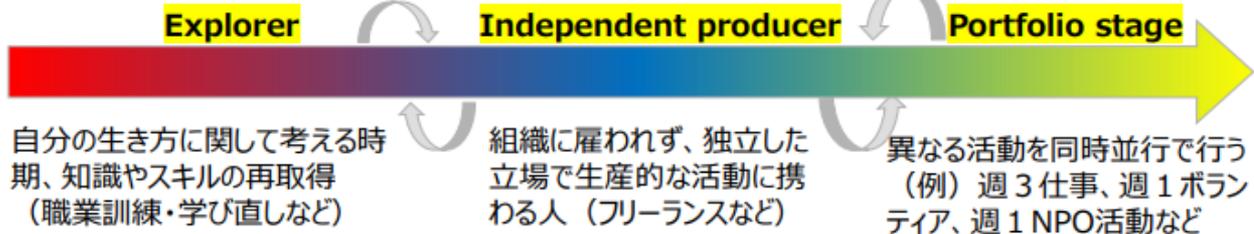
- ▶ キャリア形成の多様化
- ▶ **学び続け、能動的に変化し続けることが重要**

“ LIFE SHIFT ” (2016年 リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著)

人が100年も“健康に”生きる社会が到来する時、従来の3つの人生のステージ（**教育を受ける／仕事をする／引退して余生を過ごす**）のモデルは大きく変質する。



個人の状況に応じて、それぞれのタイミングで3つのステージを行ったり来たりするように



<100年ライフにおいて必要性が増すもの>

- ・ **教育**（専門技能を高め、世界中の競合との差別化が必要）
- ・ **多様な働き方**（70才超まで働くことを想定し、独立した立場での職業を考える）
- ・ **無形資産**（お金だけでなく、経験や人的ネットワークなど）

スリーステージの人生から
マルチステージの人生へ

卒業生のための キャリア支援委員会を発足

人生100年時代・生涯キャリアサポートプログラム

人生100年時代と言われ、また各企業などで活躍する現役世代がおかれている社会環境は大きな変化が予測され、**自ら意識してキャリアを形成した方が、より満足した人生を過ごすことができる**時代になってきている。その中で、本学の卒業生がその環境の変化に早く気づき、自らのキャリア形成に向けた方向や具体的な取り組みについて整理し、変化に対応する準備活動を始められる情報やきっかけを校友会が提供する活動であり、**校友会員への価値の提供**につながると考える。

2025年7月～9月開講講座

東京都市大学リカレントプログラム

DX人材育成コース 2025 社会人対象

新たな「教養」を実装する。

次世代リーダーを創るDX人材育成コース

急激に変化する外部環境により、企業はデジタルトランスフォーメーション（DX）の重要性を認識していますが、多くの企業はその取り組みが遅れています。主な理由は、DXを推進できる人材の不足です。本コースは、産学連携を通じて最新のDX理論と実践的なスキルを融合し、企業の変革を促進する次世代リーダーを育成します。大学の知識と企業の実践を結集し、即戦力となるDX人材を輩出することを目指しています。

経済産業省標準に基づくDXカリキュラム

経済産業省のデジタルスキル標準に基づくカリキュラムでは、DXリテラシーからリーダーに必要な推進スキルまで幅広く学習できます。理論と実践のバランスが取れた内容で、確かなスキルアップを回ります。必須授業ではビジネス変革を推進できる人材を育成し、選択授業では高レベルな共通スキルから学べる構成になっています。

文部科学省の「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択
東京都市大学は2024年1月からリカレントプログラムを開始しています

会場場所
TCU Shibuya
PXU

渋谷区道玄坂1-10-7
五島育英会ビル 8F

アクセス

京浜東北線・日豊線 市ヶ谷駅、JR山手線・埼京線、東横線 東横駅、有明線 有明駅、丸の内線 茗荷谷駅、丸の内線 茗荷谷駅「茗荷谷」徒歩5分 有明線 有明駅「有明」徒歩2分

申し込み方法

本学リカレントプログラム申込ページよりお申し込みください。

締切：6月20日（金）

お申し込みはこちらから
プログラムの新しい内容も
ご覧いただけます



定員

60名 ※先着順

受講料

7万円（税別）

受講期間

2025年7月～9月

受講時間

90分授業 × 14コマ

必須授業

8コマ
(1コマ×8授業)

選択授業

6コマ
(3コマ×2授業)

合計
14コマ

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

必須授業（全日授業）・講師

DXに求められる思考術



株式会社デジタルソフトウェア
代表取締役社長 鈴木 康弘

デジタルシフト最前線、
環境変化をチャンスにする経営戦略



株式会社オールバウト
代表取締役社長 兼 グループCEO 江幡 哲也

DXはどのように顧客価値を創造するか
—製品戦略の観点から—



アイロボットジャパン合同会社
代表取締役社長 梶野 元

経営戦略としてのDX



株式会社トリートホールディングス
執行役員 兼 CIO 兼 CTO 磯村 康典

ブランド価値を高める
共創マーケティング



一般社団法人渋谷未来デザイン
理事・事務局長 長田 新子

上場企業・スタートアップにおける
事業の創り方



Free Standard株式会社
代表取締役社長 張本 貴雄

ビジネス現場から学ぶ
データ活用術



株式会社Rejou 取締役 見並 まり江

「DX実践におけるビジネスアーキテクトの重要性」
及びコースガイドランス・オリエンテーション



株式会社YKB 代表取締役社長 川邊 雄司

選択授業（2授業を選択）

DXプロジェクトにおける成功・失敗の分岐点

講師

人間の知能と人工知能

東京都市大学 准教授

生成AI最前線：歴史・仕組み・マルチモーダル技術とプロンプトエンジニアリングの実践

芝 玉季

情報セキュリティ入門

情報工学部 知能情報工学科 教授

データサイエンス入門

情報工学部 知能情報工学科 教授

業務プロセス改革のための業務分析

情報工学部 知能情報工学科 教授

ビジネスで活用する統計学入門

情報工学部 知能情報工学科 教授

人視点からのDXを実現するHCD/UXデザイン基礎

情報工学部 知能情報工学科 教授

「やり取り」の科学

大分県 准教授

あなたの「学習歴」を保証します

NFTを活用したデジタル技術があなたの学習歴を証明

東京都市大学リカレントプログラムでの学習歴は卒業後にはデジタル化され、学習を証明するための「オープンバッジ」として授与されます。キャリアを証明する場として活用することが可能です。

オープンバッジ

オープンバッジとは、国際標準の規格として、確かな知識・スキル・経験 デジタル化して証明するものです。NFT（ブロックチェーン）技術を用いて暗号化された、読取中心に大学や資格認定団体、グローバルIT企業等多くのオープンバッジを発行しています。



2025年4月、
渋谷に未来を創る拠点が誕生

活きた新たな拠点TCU Shibuya PXU
を開校しました。この場所は、持続可能な
社会を実現するためのイノベーション人材
を輩出する重要な場です。現代社会の複雑な
課題に対応するため、PXUでは3つの取り組みを
社に次々と展開します。



お問い合わせ先 東京都市大学 渋谷PXU リカレントプログラム担当

recurrent@tcu.ac.jp ☎ 03-6809-7572 🌐 https://recurrent.shibuya-pxu.tcu.ac.jp

詳しい内容は
WEBサイトを
ご覧ください



新たな価値の提供 渋谷PXU(パクス)



社会と大学の交流の場
(クロッシング・ポイント)であるPXUは

- ・社会 (Public・People)
- ・クロッシング (X)
- ・大学、私たち (University・Us)

の頭文字から成っています

■TCU Shibuya PXUでは、“イノベーション・ディストリクト構築”を
ビジョンとして掲げながら
次の3つの取り組みを柱に活動を展開します。

- ①イノベーション人材の育成（主に社会人を対象とした教育プログラムの実施）
- ②PXUによって繋がる様々なステークホルダーを基盤としたネットワークの構築
- ③持続可能な社会発展に資する大学と社会との交流